

中学校第2学年 社会科 学習指導案

期 日 平成22年9月27日（月）第5校時
場 所 山鹿市立山鹿中学校 2年5組教室
指導者 教諭 下津 光雄

1 単元名

「世界と日本の人口」（東京書籍）

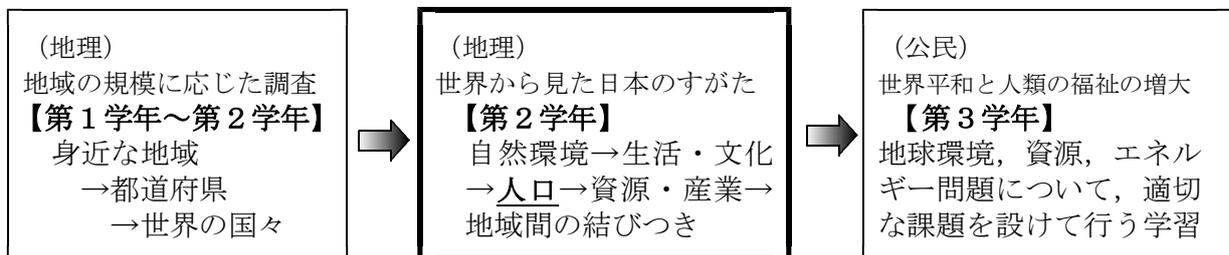
2 単元について

(1) 本単元は、世界的視野から見た日本の人口と人口密度及び少子高齢化の課題、及び、日本全体から見た人口分布、過疎・過密問題などの地域的特色を資料をもとに追究し、日本の人口に関する地域的特色をとらえる単元である。

我が国は、人口1億人を超える数少ない国で、世界的視野から見ると人口集中地域の一つとなっている。ただし、国内での人口分布を見ると、平野部と山間部で人口の集中に大きな差が生じ、過疎・過密の問題が深刻化している。また、我が国は、世界に類を見ない速さで、少子化や高齢化が進行するなど、人口に関して多くの課題を抱えた国である。

このような日本の人口に関する地域的特色について、生徒がさまざまな資料を比較し、関連付け、解釈を加えて論述したり、意見交換をしたりするなど、さまざまな言語活動を充実して行うことができる単元である。

(2) 本単元の系統は次のとおりである。



(3) 本単元に係わる生徒の実態は次のとおりである。

本学級の生徒数は、40名（男子20名、女子20名）である。事前に行った言語活動に関する実態調査の結果は、下表のとおりである。

生徒の実態を分析すると、分布図やグラフ等の資料の読み取りや複数の資料の比較や関連に関するスキルは、少しずつ定着しているが、個別に支援を要する生徒もまだまだ多い。

さらに、資料を活用して説明することや自分の考えを明確にし伝えるということに関しては、苦手とする生徒が多く、指導上の大きな課題である。これらの課題への対策として、ペアによる対話活動を中心に、互いの気付きや考えを交換する場面を可能な限り取り入れて、資料からの読み取りや解釈、さらには、それらを説明する力を育てることに努めている。現在、これらの活動については、積極的に取り組むことができるようになっているが、それを全体の場で伝え合い、意見を練り上げるまでには高まっていない。

(アンケート実施36人)

アンケート項目	ア	イ	ウ	エ
1 分布図やグラフから大まかな傾向を読み取ることができている	5	23	7	1
2 資料を比較して、違いや共通点を探したり、関連付けたりできている	2	23	9	2
3 資料を使い、友達に対して分かりやすく説明できている	4	17	13	2
4 自分の考えを明確にし、伝えようとしている	3	17	16	0
5 友達との意見交換を通し、意見の練り上げをすることができている	4	14	17	1

(ア=できている イ=だいたいできている ウ=あまりできていない エ=できていない)

次に、事前に行った評価問題の解答状況から生徒の実態を述べたい。評価問題は2問構成で、1問は、示された複数の地理的条件に当てはまる国を、資料（地図帳）から探す問題で、地図帳を活用した検索の技能を見る問題である。2問目は、四つの雨温図のそれぞれが当てはまる地域を答え、その中の2地点間の気温の変化を資料をもとに説明する問題で、資料を適切に読み取り、表現する力を問うものである。

評価問題の分析から次の4点について課題が見られる。

- ① 課題解決に必要な情報を、問題の趣旨に合わせて選択することができないこと。
- ② 何をを使えば、必要な情報を得ることができるのかという見当がつかないこと。
- ③ 自分の解答の質をより高めるための資料の検索や比較・関連を積極的に行おうとする意欲が不足していること。
- ④ 問題文の読み取り、趣旨理解に課題があり、資料の読み取りができていても、読み取ったことをうまく説明できないこと。

これらの事前調査から、必要な情報の収集や読み取りや読み取ったことを的確に表現する力の定着が不十分であり、それに加え、どうにかして、答えを見いだそうとする意欲・姿勢に課題があることが明らかになった。

(4) 指導にあたっては、次の点に留意する。

- 必要な資料を選択し、丁寧な読み取りをさせるために、一つ一つの資料の読み取り方の指導を継続的に行う。
- 資料を読み取る時間や自らの意見を練り上げる時間など、生徒それぞれが学習課題にしっかりと向き合う時間の確保に努める。
- 互いの関連性や地域の特徴をつかむことができる効果的な地図、グラフ、写真などの資料を準備し、積極的にそれらの資料を活用しながら表現する活動に努める。
- 資料の読み取りや比較・関連を行い、地域の特徴を明確に説明できるようにするために、ペアでの意見交流の場を積極的に取り入れ、一人一人が課題に対し主体的に取り組めるようにする。

思考力、判断力、表現力等と言語活動	
本単元では、地域的視野から見た人口と人口密度及び少子高齢化の課題、および、日本全体から見た人口分布、過疎・過密問題などの日本の人口に関する地域的特色について、事象相互の関連や事象の意味、課題等についての的確に表現する活動を通して、思考力、判断力、表現力の育成を図りたい。そのために、次のような言語活動の充実に努める。	
○ 分布図やグラフなどの一つ一つの資料を丁寧に読み取り、相手に分かりやすく説明する言語活動を積極的に設け、個々の表現力のレベルアップを図る。	
○ 複数の資料（地図や統計資料グラフ）を比較し、関連付けて、社会的な事象相互の関連を説明する言語活動を行い、多面的・多角的な思考力の育成を図る。	
○ 自分の考えと他者の考えを比較しながら自分の考えを広げ、高めるため、ペアなどによる対話活動の場を積極的に取り入れ、よりよい意見の練り上げに努める。	
○ 自分の考えがどのように変容し、深まっていったのかを振り返る言語活動の場を設け、思考力、判断力、表現力の確かな習得を図る。	

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	日本は、世界の人口集中地域の一つで、少子化、高齢化の進行、過疎・過密問題など人口の面で多くの課題をもった国であることをつかむ。
社会的な事象に関する 関心・意欲・態度	資料の読解やペア活動などに意欲的に取り組み、日本の人口の地域的特色や関連をとらえようとしている。
社会的な思考・判断・ 表現	習得した知識や資料をもとに、日本の人口の地域的特色について解釈したことを関連付けて考察し、考えた過程を踏まえながら表現することができる。
資料活用の技能	資料を適切に選択し、その資料から日本の人口の地域的特色に関する必要な情報の読み取り、それらを適切に記録することができる。
社会的な事象についての 知識・理解	人口に関する日本の地域的特色をとらえる視点や方法などを理解し、その知識を身につけている。

4 指導・評価の計画（5時間扱い）

次	時	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 ※言語活動とその留意点	評価項目（方法）
1	1	世界の人口分布とその推移 ○世界の人口分布図や人口増加グラフを見て、人口が集中する地域や人口急増の状況を説明する。 ○人口集中の要因や急増により生じる問題点を述べる。	<ul style="list-style-type: none"> 人口のかたよりや人口増加の状況を資料をもとに説明させる。 人口のかたよりや人口増加から起こる問題をウェブ法で示させる。 <p>※複数の分布図やグラフを準備し、それらを比較・関連付けて説明させる。</p>	<p>【資料活用の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口のかたよりや人口の増加の状況を地域名を入れて説明し、その原因を資料と関連付けて説明することができる。 <p>(学習シート) (観察法)</p>
	2	日本の人口と人口問題 ○日本は人口が多く、人口密度が高い国であるが、高齢社会で少子化が進んでいることを資料をもとに説明する。 ○高齢社会で少子化が進むことがどのような問題をもたらすかを指摘し、自分の考えを述べる。	<ul style="list-style-type: none"> 日本の人口構成の特色である少子高齢化を資料から説明させる。 少子化・高齢化がもたらす問題点から未来を予想させる。 <p>※少子化・高齢化がもたらす問題点については、未来の人口ピラミッドを予想し書いたものをもとに、ペアによる対話活動を通して、整理し深めさせる。</p>	<p>【資料活用の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の人口構成を示す人口ピラミッドを時代毎に比較し、少子化や高齢化の傾向が強まることを読み取り、それをもとに、「50年後の日本はどうなるか」について自分が予想した人口ピラミッドを使い説明することができる。 <p>(学習シート) (観察法)</p>
2	3 本時	かたよる日本の人口分布 ○国内の人口分布から、不均等な分布に気づき、どのようなところに人口が集中しているかを読み取る。 ○集中している理由について共通性をとらえ、説明する。	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の人口集中の特色を資料を関連付けて説明させる。 日本の人口集中の特色と世界的特色を比較させ、その共通性をとらえさせる。 <p>※地図やグラフ等様々な形式の資料を用いて、ペアなどの対話活動による練り上げを通してまとめ、説明させる。</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口の集中には、地形・気候・工業の発展・交通の利便性などが多面的に関連していることを、資料の活用からとらえ、説明することができる。 <p>(学習シート) (観察法)</p>
	4	過密・過疎の問題 ○過密・過疎地域が抱える問題について、事例をもとに具体的に説明する。	<ul style="list-style-type: none"> 過密・過疎の問題を整理し、場を工夫し説明させる。 <p>※過密・過疎の状況とその問題点を、様々な資料をもとにグループで協議し、協議した結果を根拠を明確にしながら説明させる。</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大都市の過密地域や山間部などの過疎地域にはどんな問題点があるかを取り上げ、何が問題かを説明することができる。 <p>(学習シート) (観察法)</p>
	5	過密・過疎の取り組み ○過密・過疎地域が抱える問題の解決に向けた具体例を参考に、わが町（山鹿市）の人口に関わる課題を調べその解決策について具体的な提案を行う。	<ul style="list-style-type: none"> わが町（山鹿市）の人口の状況や課題を資料や学習をもとに、50年後のわが町の発展を考えた人口対策の提案をさせる。 <p>※資料や経験と結び付けながらグループで協議し、意見を整理して説明させる。</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口問題の解決へ努力している事例を参考に、わが町の人口の現状を改善し発展させていくための具体的な提案を行うことができる。 <p>(学習シート) (観察法)</p>

5 本時の学習

(1) 目標

日本の人口分布の地理的特徴を、自然に関する分布図との比較、関連からとらえ、その分布の理由を多面的に考察し、関連付けながら説明することができる。【社会的な思考・判断・表現】

(2) 展開

過程	学習活動【学習形態】	主な発問・指示等	教師の指導及び評価 ※主な言語活動	備考
導入 10分	<p>1 前時までの学習を振り返り、本時の学習課題をつかむ。 【ペア】→【一斉】</p> <p>2 日本の人口分布について考える。</p> <p>(1) 日本ではどこに人口が集中しているか予想する。 【個別】書く 【一斉】発表</p> <p>(2) 日本の人口分布を確認する。 【一斉】</p>	<p>○世界ではどんな地域に人口が集中しているか、資料をもとに考え、説明しましょう。 (予想される反応等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジアやヨーロッパなどの温帯で、雨が多く、平野が広がる地域に人口が集中している。 <p>○日本ではどこに人口が集中しているか予想し、その理由を考えましょう。 (予想される反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京、大阪などに集中している。工業が発達し、大きな平野があるから。 ・日本の人口分布図を使い、確認しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての資料を使い、世界の人口の特色について説明させる。 <p>※対話活動により、読み取った情報を共有、整理し、分布の特色をよりの確に説明できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想したことを根拠を踏まえ、説明させ、その後、実際の分布を知らせる。 ・日本の人口が特に集中している地域として、東京・愛知・大阪に着目させる。 	<p>前の授業で使った分布図・グラフ</p> <p>ワークシート</p> <p>人口分布図</p>
<p>東京・愛知・大阪に人口が集中する理由を考え、説明しよう。</p>				
展開 35分	<p>3 東京・愛知・大阪に人口が集中する理由を考える。</p> <p>(1) 人口が集中している地域の地形的特徴をつかむ。 【ペア】→【一斉】</p> <p>(2) 人口の集中と地形的特徴の関係を、他の資料と関連づけて考え、説明する。 【個別】予想と根拠探し ↓ 【ペア】→【グループ】意見交流、比較・関連 ↓ 【個別】意見の再整理 ↓ 【一斉】発表</p>	<p>○人口が集中する東京・愛知・大阪に共通して見られる地形的特徴を、資料をもとに、三つ探しましょう。 (予想される反応等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3地域とも大きな平野、川、湾がある。 <p>○なぜ、日本では大きな川や平野、湾があるところに人口が集中するのか、六つの資料をもとに、その理由を考え、説明しましょう。 (予想される反応等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな川沿いには、大きな平野が広がり、工場や家がたかさんでできるので、仕事を求めて人が集まる。 ・大きな湾には、平野が広がり、工場や港や交通網が発達し、人の行き来も多くなる。 ・人が集まると、店や大学 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の人口分布の地形的特色について、世界の人口分布の特色と比較・関連させながら、考えさせる。 ・なぜ特定の地形の所に人口が集中するのか、関係する地理的事象を多く見つけられるよう十分な時間をとる。 ・課題について考えたことを互いに説明することを通して、それぞれの考えをよりの確で多面性を持った意見としてまとめさせる。 <p>※個別活動とペア活動を関連的に充実させることにより、自らの考えを広げ、的確に表現する力を高める。</p> <p>----- 評価 B：人口が集中する理由を地形的特徴と社会的事象</p>	<p>地形分布図</p> <p>ワークシート 各種分布図</p>

<p>終末 5分</p>	<p>(3) 三大都市圏の人口分布の特色と他の地域の特色を比較する。</p> <p>4 授業の振り返りを行い、授業のまとめをする。</p>	<p>ができ、さらに人が集まる。</p> <p>○みんなから出された日本の人口分布の特色は、他の地域にもあてはまりますか。</p> <p>○今日の授業を予想から最後まで振り返り、まとめをしましょう。</p>	<p>を関連付け説明できる。</p> <p>A：人口が集中する理由を地形的特徴と社会的事象の関連、さらに、社会的事象間の関連と広げて考え、多面的に説明できる。</p> <p>・世界や熊本県と比較し、共通性があるものと特異性があるものを確認する。</p> <p>※学習を通して、自分の考えがどのように変容していったのか、振り返りながら、課題に対するまとめを行う。</p>	<p>ワーク シート</p>
------------------	---	---	---	--------------------